

## (5) カバー工法の屋根への太陽光架台の設置

近年、住宅屋根のリフォームで金属屋根カバー工法の採用が増えています。  
今回は、そのカバー工法に対応した弊社の太陽光架台について解説いたします。

### 1) カバー工法で使用される屋根材の種類

カバー工法とは、既設の屋根の上に新しい屋根材をかぶせる方法です。  
数年前より、2000年頃に施工された化粧スレート屋根の改修時期が訪れており、  
主に横葺屋根などの金属屋根のカバー工法が採用される事例が増えています。

カバー工法で主に使用される屋根材の種類と、弊社の太陽光適用工法は以下のとおりです。

カバー工法に主に使用される屋根材		DH対応架台
金属横葺屋根（嵌合式）	カバー工法では、断熱材付のGL鋼板のような遮熱と断熱性の高い仕様が選ばれています。	DY5
石粒付鋼板屋根（嵌合式）	石粒付鋼板で防音性と耐久性を上げ、施工性の良い嵌合仕様となっています。	
石粒付鋼板屋根（かぶせ式）	石粒付鋼板屋根で防音性、遮熱性、錆に強い仕様となっています。	DK1

ガイドハントの対応太陽光架台

#### （共通特長）

- 屋根材加工無しで取付けられる！
- 強風・多雪区域にも対応可能！
- 施工しやすい支持部材。

#### 金属横葺屋根・石粒付鋼板屋根(嵌合式)対応



### DY5

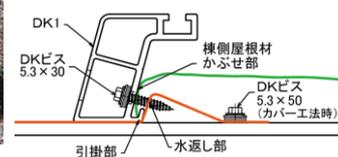


2ピース構造で屋根材をしっかり掴んで固定します。  
金具固定にビスを使用しないホールレス工法。

#### 石粒付鋼板屋根（かぶせ式）対応



### DK1



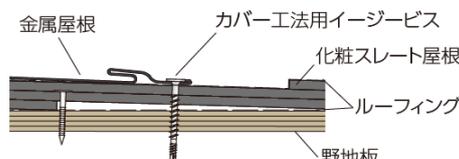
DK1の引っ掛け部に屋根材をかぶせ、専用ビスで  
ビス固定します。（右上図参照）

### 2) 金属屋根のカバー工法で使用するビス（横葺・立平葺） カバー工法用イージービス

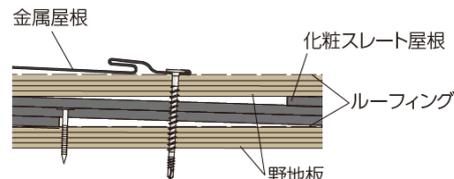
- 2段ねじ加工で鋼板の浮き上がりを抑えることができます。
- ねじ径5.4mmで強い引抜強度を確保。（当社比較試験による）



既設屋根+金属屋根  
(イージービスL53mm)



既設屋根+野地板+金属屋根  
(イージービスL65mm)



詳しくは、当社ホームページをご覧ください。>>[株式会社ガイドハントホームページ](#)

当技術資料は、関連する法令、規格等に基づき作成した参考資料であり、当内容に起因して発生した損害などに、一切の責任を持つものではありません。あらかじめご了承ください。